

モニタリングレポート(平成29年度)

施設名	AGF鈴鹿陸上競技場(石垣池公園陸上競技場)				
施設所在地	鈴鹿市桜島町七丁目1番地の3				
指定管理者名	特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	357日	総利用者数	38,926人	1日当たりの利用者数	109人
開館時間	・4月1日から9月30日までは午前9時から日没まで ・10月1日から翌年3月31日までは午前9時から午後5時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
利用料金	1,300,000	1,359,970	59,970		
事業収入	0	0	0		
指定管理料	21,637,000	21,637,000	0		
自主事業収入	810,000	936,000	126,000		
雑収入	1,000	150	▲ 850		
収入計	23,748,000	23,933,120	185,120		
人件費	8,384,000	8,614,186	230,186		
旅費交通費	0	0	0		
通信運搬費	47,000	47,953	953		
受信料	60,000	59,509	▲ 491		
消耗品費	132,000	135,490	3,490		
修繕費	143,000	155,224	12,224		
印刷製本費	60,000	124,337	64,337		
燃料費	0	0	0		
光熱水費	1,450,000	1,600,877	150,877		
賃借料	344,000	298,570	▲ 45,430		
手数料	12,000	8,000	▲ 4,000		
保険料	128,000	129,850	1,850		
委託費	5,421,000	5,520,042	99,042		
諸謝金	0	0	0		
租税公課	1,191,000	963,809	▲ 227,191		
本部管理費	2,850,000	2,583,934	▲ 266,066		
支出計	20,222,000	20,241,781	19,781		
収支	3,526,000	3,691,339	165,339		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	優良	H29年10月から11月にかけて実施。各施設とも満足度は高くなっている。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	利益を求める団体ではないことを考慮すると問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	その他財務諸表等	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、施設管理運営能力、緊急時の危機管理能力等いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○適・不適
月次報告書の提出及び2ヶ月に一度報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有等を行った。また、定例報告会開催前での重要案件や緊急事案等については、適宜報告・調整の場を持つなど、積極的に情報共有を図っていた。			
緊急時の対応評価			○適・不適
大規模災害等の緊急事態は発生しなかったが、マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しており、緊急時への対応準備は整っている。また、台風の接近時は、迅速に施設利用者の安全確保を優先するなど、円滑に対応できている。			
指定管理者の総括評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、利用者目線での危機管理や自主的に各施設の課題把握に励むなど、課題改善のための様々な方策を提案・実行する意識の高さで、継続して利用者の安全面への配慮や利便性向上に日々努めている。			
施設の課題と対策			
今年度日本陸上競技連盟が認定する第3種公認陸上競技場の公認更新のため、競技トラックの改修や備品の更新を実施したので、少しでも長く利用してもらえるよう、利用者向けの施設利用マニュアルの作成などの方策を行っていく必要がある。			
施設の方向性			
施設へのニーズは非常に高く、本市のスポーツ振興を図る上で必要不可欠な施設であるため、今後も施設を維持していく方針である。また、平成33年度に開催予定の第76回国民体育大会サッカー競技の練習会場となるなど、陸上競技に限らずサッカーなどの各種大会に対応できる競技場としての位置付けを強めていくことが望まれる。			